

～互いの違いを認め合える社会を目指して～

多様な性のアクティビティ「自分の性は何色？」

一人ひとりが自分らしく生きていくために、自分の性について理解することは大切なことです。また、社会においても、女性／男性であるという意識は、私たちに大きな影響を与えています。このアクティビティは、自らの性を振り返りながら、性の多様性を理解するものです。体験をとおして、「性」はさまざまな角度から捉えることができることを感じてみましょう。現2, 3年生は一度体験していますが、自分の性がどのように変化したか、もう一度確認してみましょう。

次の4つの要素から、自分の性はどこに当てはまるのかを考えます。

1. 体の性（生物学的性）

これは染色体や遺伝子情報などから判断される性で、いわゆる「身体の性」です。男性・女性・中性（男性とも女性とも判断できない場合→インターセックス）があります。

2. 心の性（性自認）

自分で自分の性をどう思うか、です。例えば、自分は「男」だと思うのか「女」だと思うのか、などです。「男女どちらとも言えない」、「どちらでもない」、「わからない」などの場合もあります。

3. 好きになる性（性の指向）

「誰を好きになるか」です。

- 同性が恋愛対象になる人(ホモセクシュアル)
- 異性が恋愛対象になる人(ヘトセクシュアル)、
- どんな人も恋愛対象になりうる人(パンセクシュアル)
- 誰も恋愛対象にならない人(アセクシュアル)
- 恋愛感情は抱くけれど、性欲は抱かない(ノンセクシュアル)

人を好きになる形は様々です。また、「恋愛対象として好きになる」と「性的対象として好きになる」は別です。

4. 表現する性（社会的性）

表現する性には「社会的な性」という視点が入ってきます。男らしい、あるいは女らしい服装や言動をすること、つまり自分の性を外部に対してどう表現するかということです。「男らしいさ」、「女らしいさ」はそれぞれの社会や時代によっても変化するため、性表現において「100%男」などというのは難しいといえるでしょう。

女子高校生のAさんを例に、見ていきましょう。



体は女の子なので一番左側

| | | |
|--------|---|---|
| 体の性 | 女 | 男 |
| 心の性 | 女 | 男 |
| 好きになる性 | 女 | 男 |
| 表現する性 | 女 | 男 |

最近女子であることに窮屈さを感じている……ちょっと右へ

今好きな人はクラスの男子。でも、宝塚の男役の人にマジで恋している。タレントも中性的な人が好き。なので、ちょっと左へ。

ひらひらスカートとか、マジ無理。

自分の性を確認してみましょう。書く必要はありません。心の中で考えてみましょう。



| | | |
|--------|---------|---------|
| 体の性 | 女 _____ | 男 _____ |
| 心の性 | 女 _____ | 男 _____ |
| 好きになる性 | 女 _____ | 男 _____ |
| 表現する性 | 女 _____ | 男 _____ |

Q) 「あなたの性」を色に例えると、何色ですか？ _____

まとめ ～性はグラデーション～

SOGI とは

上の表の結果は、一人ひとりそれぞれ違います。つまり、性の色は人によって様々です。性的マイノリティもそうでない人も、誰もが「SOGI」という、多様な性のグラデーションの中で生きているのです。

これは、他の人権問題にも共通することです。自分の認識を「ふつう」、「あたりまえ」として前提にしてしまわないこと、人はそれぞれ違う価値観の中で生きているのだ、ということに改めて認識することが、相手を尊重することにつながっていくのだと思います。

SOGI (ソジ・ソギ)

SO=性的指向
(どんな性別の人を好きになるか)



GI=性自認
(自分をどんな性だと認識しているか)



～今私たちにできること～

差別や偏見の問題に対して、生徒会のメンバーが行動を起こしました。



生徒会役員が「六色パンダ」のポスターを掲げ、挨拶運動を行いました。アメリカで起こった白人警官による黒人男性殺害の事件について、自分たちが何か行動を起こせないかという役員たちの思いが形になったものです。差別と偏見の問題は根深く、なかなか解決できるものではありませんが、「何かをしたい」という思い、それをどのような形で行動に移していくかを考えることが、皆さんにとって大切なことなのではないかと思っています。

* 手話クイズの答え WC(トイレ)